令和8年11月16日

埼玉県知事

大野 元裕様

埼玉県議会公明党議員団

団長　蒲生徳明

サイバーセキュリティ対策強化を求める緊急要望

国内では、企業や団体のシステムがサイバー攻撃を受け、個人情報が大量に漏えいする事案が相次いで発生している。

近年は、AI（人工知能）を悪用した巧妙なサイバー攻撃も多発しており、大手企業においては会員の運転免許証画像を含む個人情報が流出する事案も発生した。流出した情報がインターネット上の闇サイトで取引され、詐欺や不正な口座開設等に悪用される可能性が指摘されており、利用者の不安が高まっている。

本県においては、現時点で大規模な不正アクセスによる情報漏えい等は確認されていないものの、サイバー攻撃の脅威は一層高まっている。

よって、県民の安全・安心を確保し、県行政サービスを安定的に提供するため、早急な対策が必要であることから、下記の事項について要望する。

記

1．県情報システムの脆弱性について総点検及び検証を行い、必要な対策を早急に講ずること。
2．サイバー攻撃やシステム障害等によりシステムが停止した場合に備え、バックアップ体制及び事業継続対策（BCP）の強化を図ること。
3．個人情報を取り扱う委託事業者等に対する指導・監督を強化し、安全管理措置の徹底を図ること。
4．基本ソフトウェアの最新化、多要素認証の導入その他情報システムの安全性向上に必要な対策を講ずること。
5．サイバーセキュリティ人材の確保・育成及び専門性の強化を図るとともに、市町村への技術的支援の強化を図ること。
6．県職員の情報セキュリティに対する意識啓発を徹底し、リスク管理意識の向上を図ること。
7．県民及び県内市町村に対し、サイバー攻撃の脅威や情報セキュリティ対策について、より一層の注意喚起及び啓発を行うこと。

以上